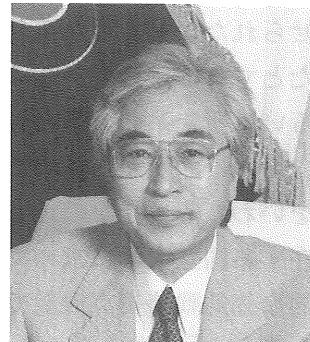


卷頭言

21世紀の学術

相 良 祐 輔



「大学評価基準の改定案」について意見を求められたこと、ES細胞の研究費に対する米国下院での論議、我が国の総合科学技術会議の論議、そして本稿の依頼などが重なったことから、「学術」の定義について、新言海、広辞苑、日本語大辞典、大辞林など八つの辞典を改めて開いてみた。共通したものは、「学術とは学問と芸術とをいう」であった。表現に小異はあるが、「学問とその応用」が次いで多かった。学問については、一定の普遍的了解が成立していることとして話を進めるが、専門的な研究として行われる原理・技術の応用が学術であるのなら、このことについて改めて考えてみるとことは、21世紀の出発点にある今日、特に意味のあることではあるまい。

どのような領域の研究であろうと、学問としては、研究者個人の問題は消去されて、本当の意味での「人類のために」であらねばならない。しかし、研究者も人の子であり、PRIORITYとかIDENTITYとはいうものの、自己欲を全く消去することは極めて困難な問題である。しかもこの部分から生ずる競争的環境は、学問の進歩に好

ましい役割も果たす一面があることは否定できない。一方実社会への応用の期待が強いほど、功利面の影響も強くなるのであって、無意識に研究者の心の内で、本当に人類のためになるかよりも、自我の知的関心や競争的環境への比重が極めて大きなものとなってしまうことも事実である。

このことは、21世紀が知的技術あるいは知的基盤の社会といわれるのであれば、学術に関わる人が、学術の基本を問い合わせ大切な問題であろうかと考えている。科学が何をしてきたか、科学の歴史を問い合わせことで、21世紀の出発点に立つ学術に関わる人たちの姿勢を、見定めることができるのはなかろうか。

国立大学法人となって、競争的資金の必要性が、有無を言わざぬ形で迫られ、六年後に自らの存続をかけた評価が待ち受けている今日、どの大学も競争的環境での経営に苦闘している。「大学評価基準改定案」のなかの一つに、選択的評価として、大学の目的に照らして、大学自身が希望する分野すなわち教育か研究かを選択すれば、それに応じて評価を行うとあった。

21世紀の日本の高等教育の場を評価す

る視点とは、こういうものなのかと考えさせられた。どちらかを希望し、評価を受けたとすれば、社会からは、教育系の大学あるいは研究系の大学との選別を受けるのみで終わる危険が、極めて大きい。地方分権をいわれるさなかの地方が、その地域に存在する国立大学に求めているものは、総合的な知的戦略拠点機能である。私たち高知大学が、「地方大学から地域の大学へ」を改革の目指すところとしている所以は、まさにこの一点にある。地方にある国立大学が総合大学として存在する理由は、少なくともこれからは、この一点によるところが、極めて大きくなると考えている。

ES細胞の研究に対して国家的予算をと、米国で議論されており、その最大理由は、この分野で世界のトップを維持することは、特許をはじめとして、知の世紀のリーダーシップを米国は保持しなければならないからということらしい。勿論、ES細胞が一つの細胞からのことか、生命の宿った細胞由来なのかが論議の根底にあると思って行方をみなければならぬであろう。国家間競争が競争的資源を目的とすることだけでは、人類社会が成り立つてゆかないことを、20世紀を経験した私たちは学んだはずである。自然との共生、環境への配慮が言われる所以である。競争的環境は、問題が功利的であればあるほど、「本当に人類のためになるのか」という学問本来の問

いかけを無力化してしまう。

研究の国家間競争に負けて良いと言っているのではない。21世紀が知的基盤社会であることを知っているのならば、学術に関わる人たちは、学問の本来を忘れない姿勢を堅持しながら、競争的環境を生き抜かねばならないことなのだ、と言いたいのである。

国立大学法人化のもとでは、二種類の国立大学ができないものか。その上で大学評価が行えないものかと考えている。すなわち教育・研究資源が、既に十分備わった大学のなかから、国家的競争環境に十分立ち向かえる大学を選別してグループ化する。今ひとつは、地方にも中央にも必要とされる人材育成を目的とし、さらには地域の総合的な知の戦略拠点たる機能を果たす地域の大学をグループ化する。この二つの大学群が均衡して高等教育の質を支え、これらのバランスの中で評価も行われる日本の高等教育の場を創り出せないであろうか。大学法人化された我が国の高等教育の場を、人類のためにという学問の本来を大切に考えながら、競争的環境を生き抜く人材と、その人たちによってもたらされる成果とが期待される場とすることは、さほど困難なことではないと考えるのであるが。

さがら・ゆうすけ
高知大学 学長